

# 《よこしん》 景況レポート

NO.130  
2024年1月

YOKOSHIN BUSINESS INFORMATION

|  |                      |
|--|----------------------|
| 景気動向調査 .....   | 1                    |
| 2023年10～12月期実績、2024年1～3月期予想  |                      |
| ◇ 全業種総合 業況 DI は小幅ながら悪化、売上額・収益 DI 共に改善、<br>来期の業況 DI は改善、売上額・収益 DI 共に悪化する見込み | 2                    |
| ◇ 製造業 業況 DI は悪化し5期ぶりにマイナスに、<br>来期は業況・売上額・収益 DI 共に改善する見込み                   | 3                    |
| ◇ 卸売業 業況・売上額・収益 DI 共に悪化、<br>来期も業況・売上額・収益 DI 共に悪化する見込み                      | 4                    |
| ◇ 小売業 業況 DI は改善、収益 DI は悪化、<br>来期も収益 DI は悪化が続きマイナスに転じる見込み                   | 5                    |
| ◇ サービス業 業況 DI は改善、売上額・収益 DI 共に悪化、<br>来期は業況・収益 DI 共にマイナスに転じる見込み             |                      |
| ◇ 建設業 業況・売上額・収益 DI 共に改善、<br>来期は売上額・収益 DI 共に悪化に転じる見込み                       | 6                    |
| ◇ 不動産業 業況・売上額・収益 DI 共に改善、<br>来期は収益 DI がマイナスに転じる見込み                         |                      |
| ◇ コメント   | 7                    |
| 特別調査「2024年(令和6年)の経営見通しについて」.....   | 8                    |
| ・2024年の日本の景気見通し  | 普通(41.6%)            |
| ・2024年の自社の業況(景気)   | 普通(57.7%)            |
| ・2024年の貴社の売上額の伸び率  | 変わらない(53.0%)         |
| ・自社の業況が上向く時期   | すでに上向いている(32.7%)     |
| ・2024年の価格面の見通し 販売価格  | 緩やかな上昇(10%未満)(50.2%) |
| 仕入価格   | 緩やかな上昇(10%未満)(59.2%) |
| 誌上セミナー 確定申告に係る主な改正点.....   | 11                   |

このまちの未来をともにつくる



横浜信用金庫

# 景気動向調査

2023年10～12月期実績、2024年1～3月期予想

## 《概況》

### 業況DI(全業種総合)は小幅ながら悪化、来期は改善する見込み

今期の全業種総合業況判断DIは、前期比0.1ポイント低下の6.4と小幅ながら悪化した。

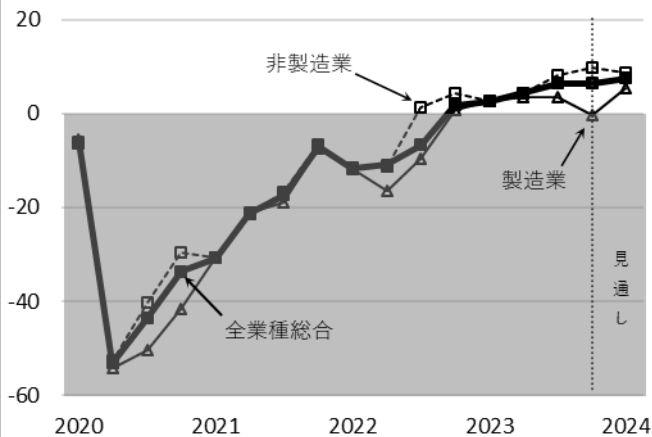
製造業は前期比3.9ポイント低下の-0.4、非製造業は同1.8ポイント上昇の9.8となった。

来期の全業種総合業況判断DIは、今期比1.2ポイント上昇の7.6と改善を見込む。

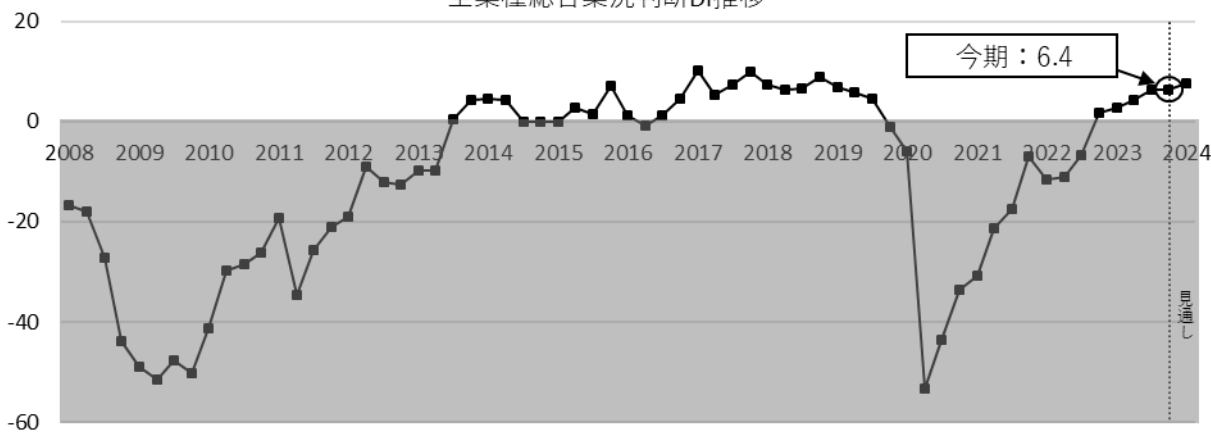
<業況DI天気図>

|         | 2023年<br>7-9月 | 10-12月 | (予想)2024<br>1-3月 | 方向 |
|---------|---------------|--------|------------------|----|
| 全 体     | 6.5           | 6.4    | 7.6              | ↗  |
| 製 造 業   | 3.5           | ▲0.4   | 5.3              | ↗  |
| 非 製 造 業 | 8.0           | 9.8    | 8.7              | ↘  |
| 卸 売 業   | 11.3          | 7.0    | 5.6              | ↘  |
| 小 売 業   | 0.0           | 2.2    | 0.0              | ↘  |
| サービ 業   | 3.0           | 8.2    | ▲1.0             | ↘  |
| 建 設 業   | 19.3          | 20.3   | 25.4             | ↗  |
| 不 動 産 業 | 3.0           | 7.5    | 9.0              | ↗  |

業種別業況判断DI推移



全業種総合業況判断DI推移



### 《調査要領》

- 調査時期/2023年12月上旬
  - 調査対象/当金庫取引先(法人・個人事業者)
  - 調査方法/営業店職員による聞き取り調査
  - 分析方法/DI(Diffusion Index)による分析
- ※DIとは、「良い・増加・上昇・過剰」の回答全体に占める割合と「悪い・減少・下降・不足」の回答全体に占める割合との差を表し、景気判断や景気変化の方向を計る数値

|         | 調査先 | 回答先 | 回答率    |
|---------|-----|-----|--------|
| 製 造 業   | 229 | 227 | 99.1%  |
| 卸 売 業   | 71  | 71  | 100.0% |
| 小 売 業   | 93  | 93  | 100.0% |
| サービ 業   | 99  | 98  | 99.0%  |
| 建 設 業   | 119 | 118 | 99.2%  |
| 不 動 産 業 | 67  | 67  | 100.0% |
| 合 計     | 678 | 674 | 99.4%  |

< 今 期 >

**業況DIは小幅ながら悪化、  
売上額・収益DI共に改善**

今期の全業種総合業況判断DI（良い－悪い）は、前期比0.1ポイント低下の6.4となり、小幅ながら悪化に転じた。

売上額DI（増加－減少）は前期比3.6ポイント上昇の20.0、収益DI（増加－減少）は同3.4ポイント上昇の7.4となった。

販売価格DI（上昇－下降）は前期比1.4ポイント上昇の25.4、仕入価格DI（上昇－下降）は同6.7ポイント上昇の50.5となった。

在庫DI（過剰－不足）は前期比0.9ポイント上昇の1.6、資金繰りDI（楽－苦しい）は同0.5ポイント上昇の－1.3となった。

借入実施企業割合は27.6%と、前期比4.3ポイント上昇した。設備投資実施企業割合は、同0.6ポイント低下の11.6%であった。

雇用面では人手DI（過剰－不足）が、前期比2.1ポイント低下の－20.8となった。

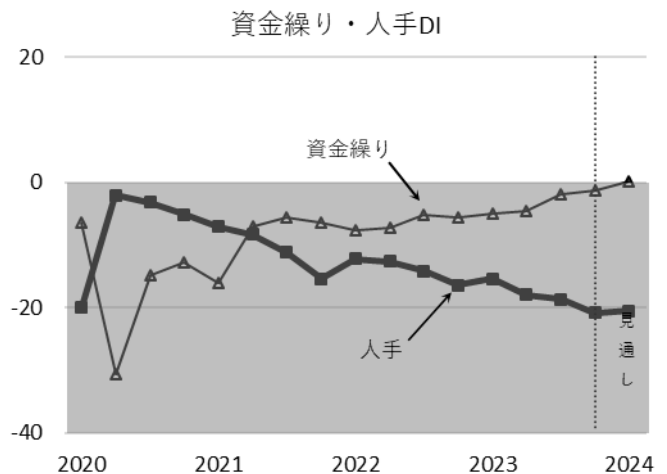
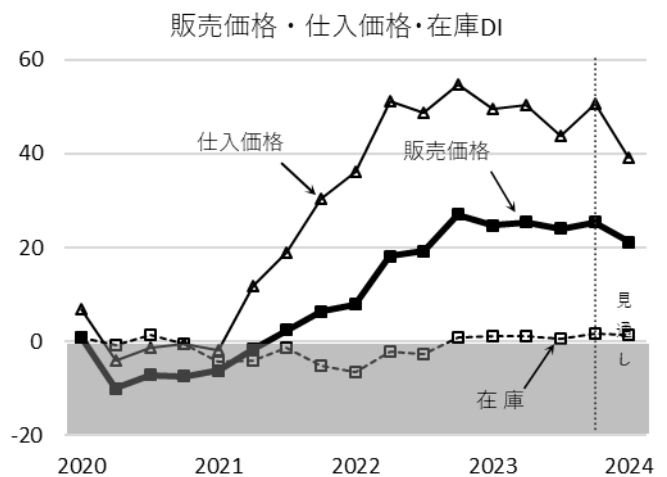
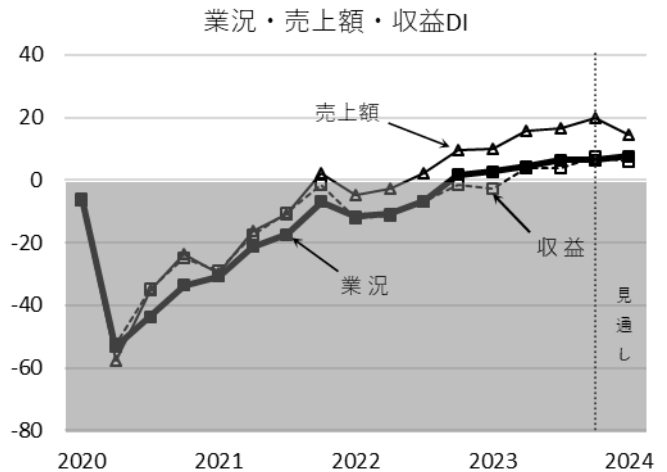
< 来 期 >

**来期の業況DIは改善、  
売上額・収益DI共に悪化する見込み**

来期の全業種総合業況判断DIは今期比1.2ポイント上昇の7.6、売上額DIは同5.3ポイント低下の14.7、収益DIは同1.6ポイント低下の5.8となり、業況DIは改善、売上額・収益DIは共に悪化を見込んでいる。

販売価格DIは今期比4.2ポイント低下の21.2を見込んでいる。仕入価格DIは同11.3ポイント低下の39.2を見込んでいる。

人手DIは今期比0.3ポイント上昇の－20.5と改善を見込んでいる。



< 全業種総合 主要DI >

|      | 2023年 |       |       |        | (予想) 2024年 |   | 方向 |
|------|-------|-------|-------|--------|------------|---|----|
|      | 1-3月  | 4-6月  | 7-9月  | 10-12月 | 1-3月       |   |    |
| 業況判断 | 2.7   | 4.4   | 6.5   | 6.4    | 7.6        | ↗ |    |
| 売上額  | 10.2  | 15.5  | 16.4  | 20.0   | 14.7       | ↘ |    |
| 収益   | ▲2.7  | 3.8   | 4.0   | 7.4    | 5.8        | ↘ |    |
| 販売価格 | 24.8  | 25.4  | 24.0  | 25.4   | 21.2       | ↘ |    |
| 仕入価格 | 49.6  | 50.4  | 43.8  | 50.5   | 39.2       | ↘ |    |
| 在庫   | 1.2   | 1.2   | 0.7   | 1.6    | 1.4        | ↘ |    |
| 資金繰り | ▲4.9  | ▲4.6  | ▲1.8  | ▲1.3   | 0.1        | ↗ |    |
| 人手   | ▲15.3 | ▲18.0 | ▲18.7 | ▲20.8  | ▲20.5      | ↗ |    |

< 今 期 >

業況DIは5期ぶりにマイナスに

今期の業況判断DIは、前期比3.9ポイント低下の-0.4となった。

売上額DIは前期比1.0ポイント上昇の16.3、収益DIは同8.3ポイント上昇の7.0であった。

販売価格DIは前期比0.6ポイント上昇の21.1、原材料価格DIは同8.3ポイント上昇の53.7となった。

原材料在庫DIは、前期比3.9ポイント上昇の3.5、資金繰りDIは、同4.0ポイント上昇の1.8となった。

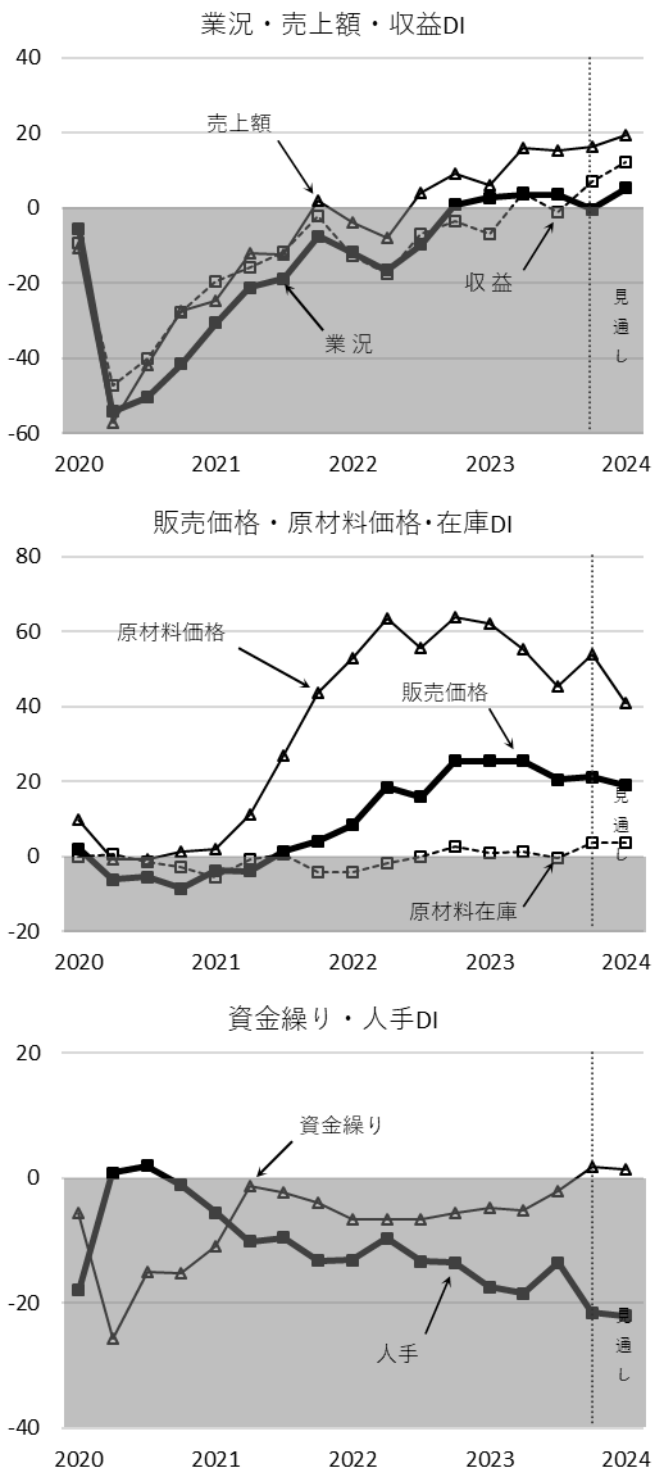
借入実施企業割合は27.3%と、前期比4.6ポイント上昇した。設備投資実施企業割合は、同0.6ポイント上昇の15.3%であった。

人手DIは、前期比8.0ポイント低下し、-21.6となった。

< 来 期 >

来期は業況・売上額・収益DI共に改善する見込み

来期の業況判断DIは今期比5.7ポイント上昇の5.3、売上額DIは同3.1ポイント上昇の19.4、収益DIは同5.3ポイント上昇の12.3を見込んでいる。



< 製造業 主要DI >

|       | 2023年 |       |       |        | (予想) 2024年 | 方向 |
|-------|-------|-------|-------|--------|------------|----|
|       | 1-3月  | 4-6月  | 7-9月  | 10-12月 | 1-3月       |    |
| 業況判断  | 2.6   | 3.5   | 3.5   | ▲0.4   | 5.3        | ↗  |
| 売上額   | 6.1   | 15.8  | 15.3  | 16.3   | 19.4       | ↗  |
| 収益    | ▲7.0  | 3.9   | ▲1.3  | 7.0    | 12.3       | ↗  |
| 販売価格  | 25.3  | 25.4  | 20.5  | 21.1   | 18.9       | ↘  |
| 原材料価格 | 62.0  | 55.3  | 45.4  | 53.7   | 41.0       | ↘  |
| 原材料在庫 | 0.9   | 1.3   | ▲0.4  | 3.5    | 3.5        | →  |
| 資金繰り  | ▲4.8  | ▲5.3  | ▲2.2  | 1.8    | 1.3        | ↘  |
| 人手    | ▲17.5 | ▲18.5 | ▲13.6 | ▲21.6  | ▲22.0      | ↘  |

< 個別業種 >

改善が3業種、悪化が4業種

< 今 期 >

10社以上回答のあった個別業種（7業種）の業況判断DIは、改善が3業種、悪化が4業種であった。

プラスチック製品は前期比4.2ポイント上昇の12.5、電気機械器具は同0.9ポイント上昇の10.0となった。

一方、精密機械器具は前期比10.9ポイント低下の-4.2、金属プレス・メッキは同7.1ポイント低下の-7.1となった。

< 来 期 >

来期の業況判断DIは3業種で改善、2業種で横ばい、2業種で悪化を見込んでいる。

<注>10社以上回答のあった個別業種（7業種）

プラスチック製品、金属製品・その他、金属プレス・メッキ、一般機械器具、電気機械器具、精密機械器具、食料品

< 業種別 業況判断DI >

|           | 2023年 |       |       |        | (予想) 2024年 | 方向 |
|-----------|-------|-------|-------|--------|------------|----|
|           | 1-3月  | 4-6月  | 7-9月  | 10-12月 | 1-3月       |    |
| 部 品 加 工 型 | 7.1   | 1.8   | 2.7   | 0.9    | 5.3        | ↗  |
| プラスチック製品  | 25.0  | 8.3   | 8.3   | 12.5   | 6.3        | ↘  |
| 金属製品・その他  | 8.1   | 4.7   | 2.3   | 0.0    | 7.2        | ↗  |
| 金属プレス・メッキ | ▲14.3 | ▲21.4 | 0.0   | ▲7.1   | ▲7.1       | →  |
| 機 械 器 具 型 | ▲3.0  | 10.8  | 3.3   | ▲1.6   | 3.1        | ↗  |
| 一般機械器具    | ▲23.5 | ▲11.8 | ▲15.4 | ▲16.7  | 8.3        | ↗  |
| 電気機械器具    | 0.0   | 28.6  | 9.1   | 10.0   | 5.0        | ↘  |
| 精密機械器具    | ▲3.7  | 11.5  | 6.7   | ▲4.2   | ▲4.2       | →  |
| 消 費 財 型   | ▲4.0  | 24.0  | 3.7   | 8.7    | 17.4       | ↗  |
| 食 料 品     | 0.0   | 30.8  | 6.3   | 7.1    | 21.4       | ↗  |

非製造業

(回答先 447)

■ 卸売業 (回答先 71)

業況・売上額・収益 DI 共に悪化  
来期も業況・売上額・収益 DI 共に  
悪化する見込み

< 今 期 >

今期の業況判断DIは、前期比4.3ポイント低下の7.0となった。

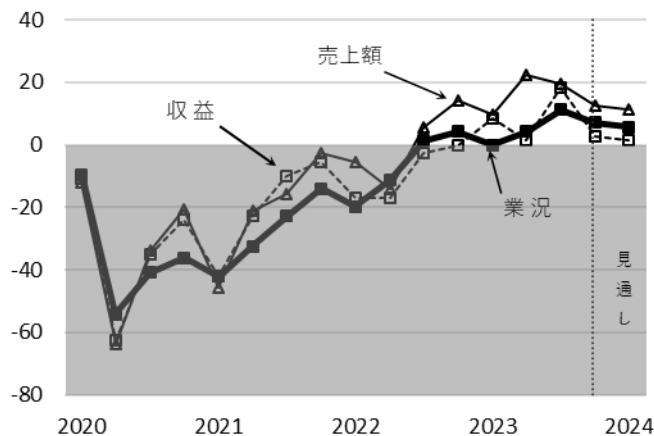
売上額DIは前期比7.0ポイント低下の12.7、収益DIは同15.5ポイント低下の2.8となった。

販売価格DIは前期比4.2ポイント低下の28.2、仕入価格DIは同1.4ポイント上昇の45.1となった。

< 来 期 >

来期の業況判断DIは今期比1.4ポイント低下の5.6、売上額DIは同1.4ポイント低下の11.3、収益DIは同1.4ポイント低下の1.4を見込んでいる。

業況・売上額・収益DI



< 卸売業 主要DI >

|         | 2023年 |       |       |        | (予想) 2024年 | 方向 |
|---------|-------|-------|-------|--------|------------|----|
|         | 1-3月  | 4-6月  | 7-9月  | 10-12月 | 1-3月       |    |
| 業 況 判 断 | 0.0   | 4.2   | 11.3  | 7.0    | 5.6        | ↘  |
| 売 上 額   | 9.9   | 22.5  | 19.7  | 12.7   | 11.3       | ↘  |
| 収 益     | 8.5   | 1.4   | 18.3  | 2.8    | 1.4        | ↘  |
| 販 売 価 格 | 31.0  | 35.2  | 32.4  | 28.2   | 23.9       | ↘  |
| 仕 入 価 格 | 45.1  | 49.3  | 43.7  | 45.1   | 32.4       | ↘  |
| 在 庫     | 2.8   | 4.2   | 7.0   | 1.4    | 5.6        | ↗  |
| 資 金 繰 り | ▲2.8  | ▲15.5 | 0.0   | ▲2.9   | ▲1.4       | ↗  |
| 人 手     | ▲7.0  | ▲9.9  | ▲21.4 | ▲5.6   | ▲5.6       | →  |

## ■ 小売業 (回答先 93)

業況DIは改善、収益DIは悪化、  
来期も収益DIは悪化が続き  
マイナスに転じる見込み

### <今期>

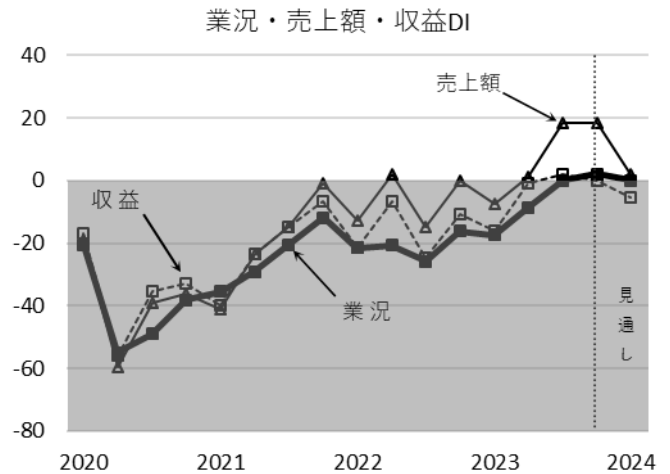
今期の業況判断DIは、前期比2.2ポイント上昇の2.2となった。

売上額DIは前期比横ばいの18.3、収益DIは同2.2ポイント低下の0.0となった。

販売価格DIは前期比3.2ポイント上昇の35.5、仕入価格DIは同6.5ポイント上昇の57.0となった。

### <来期>

来期の業況判断DIは今期比2.2ポイント低下の-0.0、売上額DIは同16.1ポイント低下の2.2、収益DIは同5.4ポイント低下の-5.4を見込んでいる。



< 小売業 主要DI >

|      | 2023年 |      |       |        | (予想) 2024年 | 方向 |
|------|-------|------|-------|--------|------------|----|
|      | 1-3月  | 4-6月 | 7-9月  | 10-12月 | 1-3月       |    |
| 業況判断 | ▲17.4 | ▲8.6 | 0.0   | 2.2    | 0.0        | ↘  |
| 売上額  | ▲7.5  | 1.1  | 18.3  | 18.3   | 2.2        | ↘  |
| 収益   | ▲16.1 | ▲1.1 | 2.2   | 0.0    | ▲5.4       | ↘  |
| 販売価格 | 33.3  | 33.3 | 32.3  | 35.5   | 31.2       | ↘  |
| 仕入価格 | 53.8  | 53.8 | 50.5  | 57.0   | 38.7       | ↘  |
| 在庫   | 6.5   | 7.5  | 4.3   | 3.2    | 2.2        | ↘  |
| 資金繰り | ▲10.8 | ▲9.7 | ▲14.0 | ▲12.9  | ▲8.6       | ↗  |
| 人手   | ▲3.2  | ▲5.4 | ▲6.5  | ▲10.8  | ▲9.7       | ↗  |

## ■ サービス業 (回答先 98)

業況DIは改善、売上額・収益DI共に悪化、  
来期は業況・収益DI共に  
マイナスに転じる見込み

### <今期>

今期の業況判断DIは、前期比5.2ポイント上昇の8.2となった。

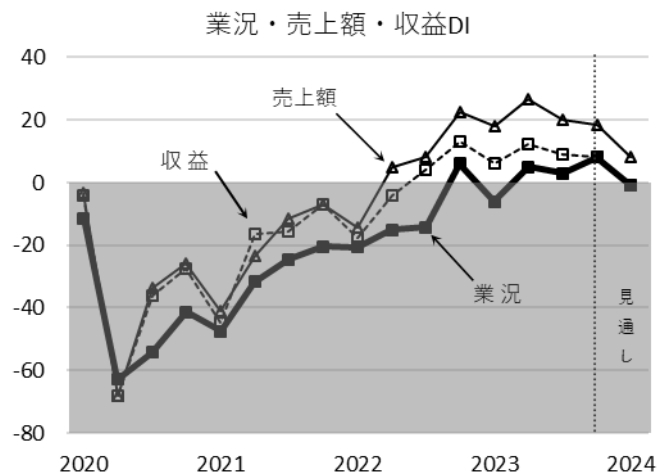
売上額DIは前期比1.8ポイント低下の18.4、収益DIは同0.9ポイント低下の8.2となった。

料金価格DIは前期比0.9ポイント低下の16.3、材料価格DIは同6.8ポイント上昇の37.1となった。

人手DIは、前期比3.5ポイント上昇の-26.8となった。

### <来期>

来期の業況判断DIは今期比9.2ポイント低下の-1.0、売上額DIは同10.2ポイント低下の8.2、収益DIは同9.2ポイント低下の-1.0を見込んでいる。



< サービス業 主要DI >

|      | 2023年 |       |       |        | (予想) 2024年 | 方向 |
|------|-------|-------|-------|--------|------------|----|
|      | 1-3月  | 4-6月  | 7-9月  | 10-12月 | 1-3月       |    |
| 業況判断 | ▲6.1  | 5.1   | 3.0   | 8.2    | ▲1.0       | ↘  |
| 売上額  | 18.2  | 26.5  | 20.2  | 18.4   | 8.2        | ↘  |
| 収益   | 6.1   | 12.2  | 9.1   | 8.2    | ▲1.0       | ↘  |
| 料金価格 | 14.1  | 15.3  | 17.2  | 16.3   | 11.2       | ↘  |
| 材料価格 | 28.3  | 29.6  | 30.3  | 37.1   | 28.9       | ↘  |
| 資金繰り | ▲13.1 | ▲7.1  | ▲4.0  | ▲8.2   | ▲6.1       | ↗  |
| 人手   | ▲23.2 | ▲25.5 | ▲30.3 | ▲26.8  | ▲26.8      | →  |

## ■ 建設業（回答先 118）

業況・売上額・収益DI共に改善、  
来期は売上額・収益DI共に  
悪化に転じる見込み

### <今期>

今期の業況判断DIは、前期比1.0ポイント上昇の20.3となった。

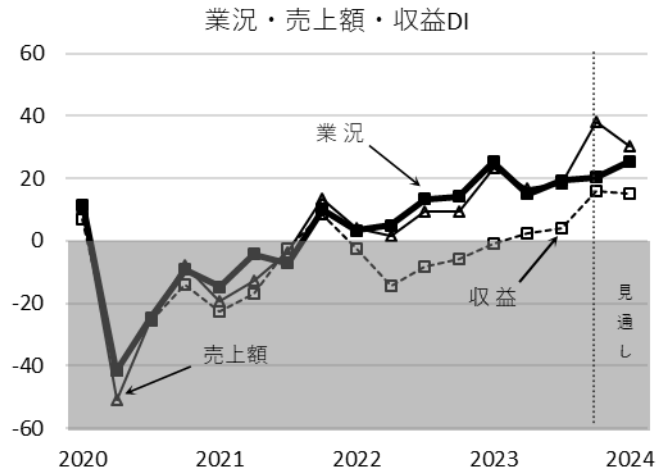
売上額DIは前期比19.6ポイント上昇の38.1、  
収益DIは同11.9ポイント上昇の16.1となった。

請負価格DIは前期比5.3ポイント上昇の28.0、  
材料価格DIは同6.4ポイント上昇の59.3となった。

人手DIは、前期比4.2ポイント低下の-38.1となった。

### <来期>

来期の業況判断DIは今期比5.1ポイント上昇の25.4、  
売上額DIは同7.6ポイント低下の30.5、  
収益DIは同0.8ポイント低下の15.3を見込んでいる。



< 建設業 主要DI >

|      | 2023年 |       |       |        | (予想) 2024年 | 方向 |
|------|-------|-------|-------|--------|------------|----|
|      | 1-3月  | 4-6月  | 7-9月  | 10-12月 | 1-3月       |    |
| 業況判断 | 25.2  | 15.1  | 19.3  | 20.3   | 25.4       | ↗  |
| 売上額  | 23.5  | 16.8  | 18.5  | 38.1   | 30.5       | ↘  |
| 収益   | ▲0.8  | 2.5   | 4.2   | 16.1   | 15.3       | ↘  |
| 請負価格 | 26.1  | 24.4  | 22.7  | 28.0   | 22.0       | ↘  |
| 材料価格 | 54.6  | 63.0  | 52.9  | 59.3   | 51.7       | ↘  |
| 在庫   | 0.8   | ▲1.7  | 0.8   | 3.4    | 1.7        | ↘  |
| 資金繰り | 4.2   | 6.8   | 6.7   | 5.9    | 9.3        | ↗  |
| 人手   | ▲26.1 | ▲32.2 | ▲33.9 | ▲38.1  | ▲36.4      | ↗  |

## ■ 不動産業（回答先 67）

業況・売上額・収益DI共に改善、  
来期は収益DIがマイナスに転じる見込み

### <今期>

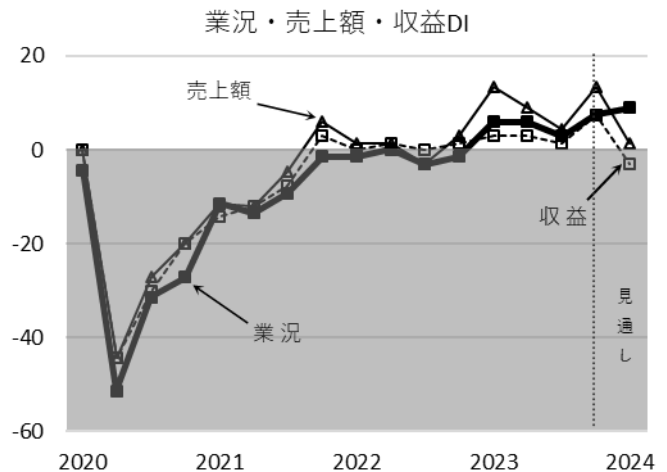
今期の業況判断DIは前期比4.5ポイント上昇の7.5となった。

売上額DIは、前期比8.9ポイント上昇の13.4、  
収益DIは同6.0ポイント上昇の7.5となった。

販売価格DIは前期比2.9ポイント上昇の31.3、  
仕入価格DIは同7.5ポイント上昇の40.3となった。

### <来期>

来期の業況判断DIは今期比1.5ポイント上昇の9.0、  
売上額DIは同11.9ポイント低下の1.5、  
収益DIは同10.5ポイント低下の-3.0を見込んでいる。



< 不動産業 主要DI >

|      | 2023年 |      |      |        | (予想) 2024年 | 方向 |
|------|-------|------|------|--------|------------|----|
|      | 1-3月  | 4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 1-3月       |    |
| 業況判断 | 6.0   | 6.0  | 3.0  | 7.5    | 9.0        | ↗  |
| 売上額  | 13.4  | 9.0  | 4.5  | 13.4   | 1.5        | ↘  |
| 収益   | 3.0   | 3.0  | 1.5  | 7.5    | ▲3.0       | ↘  |
| 販売価格 | 17.9  | 20.9 | 28.4 | 31.3   | 25.4       | ↘  |
| 仕入価格 | 28.4  | 38.8 | 32.8 | 40.3   | 34.3       | ↘  |
| 在庫   | ▲6.0  | ▲6.0 | ▲7.5 | ▲10.4  | ▲11.9      | ↘  |
| 資金繰り | ▲3.0  | 0.0  | 3.0  | 3.0    | 3.0        | →  |
| 人手   | ▲3.0  | ▲6.0 | ▲6.0 | ▲9.0   | ▲9.0       | →  |

## 《 コメント 》

---

### ＜製造業＞

- 原材料費の高騰や燃料費の高騰に加え、人材不足が深刻化。〔金属製品〕
- 半導体供給の安定化により業況改善。〔鉄鋼〕
- 主力製品の他社競合が激しく売上額が減少見込み。〔その他〕

### ＜卸売業＞

- 仕入価格が高騰するも販売価格に転嫁できていない。〔農畜産物・水産物〕
- 仕入先からの納品遅れに関して、納品数などの交渉が必要。〔その他〕
- 主要取引先（大手企業）の生産計画による影響が強い。〔その他〕

### ＜小売業＞

- 消費者ニーズの多様化への対応が難しく事業展開に不安要素あり。〔飲食料品〕
- 最低賃金上昇に伴う人件費の増加。〔飲食料品〕
- 仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁できており業況好調。〔自動車・自転車〕

### ＜サービス業＞

- 人手不足に加え、新たな人材確保に課題。〔自動車整備および駐車場〕
- 2024年問題への対応による人件費増加に伴い利幅が減少。〔その他〕
- 売上は増加傾向にあるものの、経費増により利幅の減少が継続。〔その他〕

### ＜建設業＞

- 下請企業の人手不足により受注が増やせない状況。〔総合工事〕
- 公共事業の入札が好調、売上も堅調に推移。〔識別工事（土木工事）〕
- 原材料不足により工期が長期化。〔総合工事〕

### ＜不動産業＞

- 相続に伴う不動産売却案件の増加。〔不動産代理・仲介〕
- 不動産価格の高止まりを受け、仕入れを控えている。〔建売・土地売買〕
- 自社でプロジェクトを実施せず、物件売買と仲介手数料で収益を確保。〔建売・土地売買〕



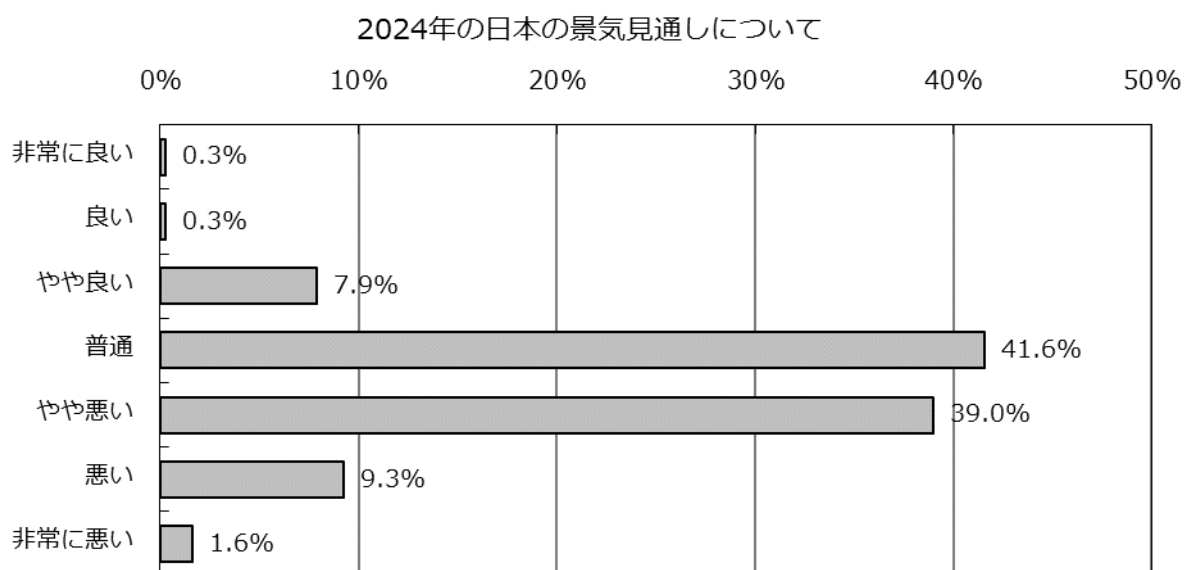
## 特別調査「2024年(令和6年)の経営見通しについて」

※回答により合計が100%とならない場合があります。

### Q1. 2024年の日本の景気見通しについて

#### 「普通」(41.6%)が最多、次いで「やや悪い」(39.0%)が続く

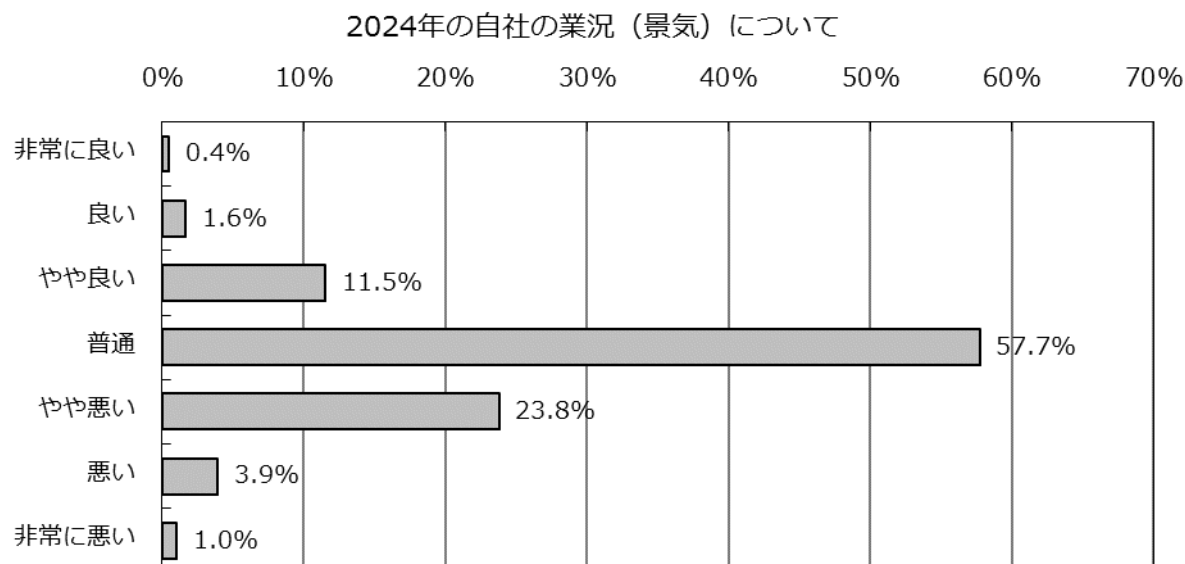
2024年の日本の景気の見通しについては、「普通」が最多(41.6%)であった。悪い(やや悪い、悪い、非常に悪い)と回答した合計は49.9%となり、約半数の回答にのぼった。



### Q2. 2024年の自社の業況(景気)について

#### 「普通」(57.7%)が最多回答

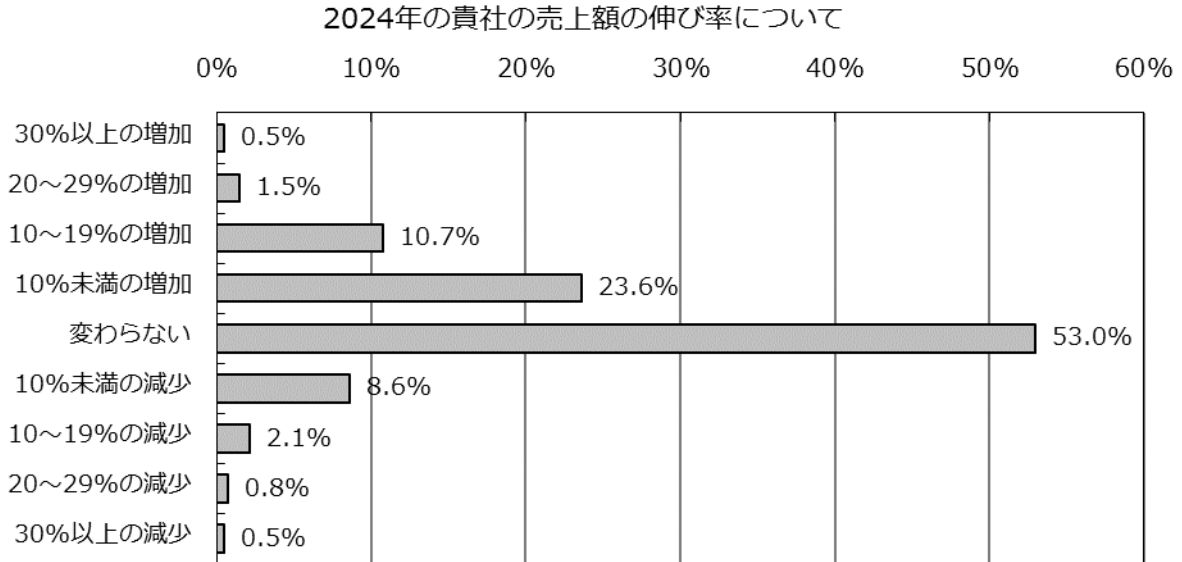
2024年の自社の業況(景気)についての見通しでは、「普通」(57.7%)が最多回答であった。次いで「やや悪い」(23.8%)、「やや良い」(11.5%)が続いた。



### Q3. 2024年の貴社の売上額の伸び率について

#### 「変わらない」(53.0%)が最多回答

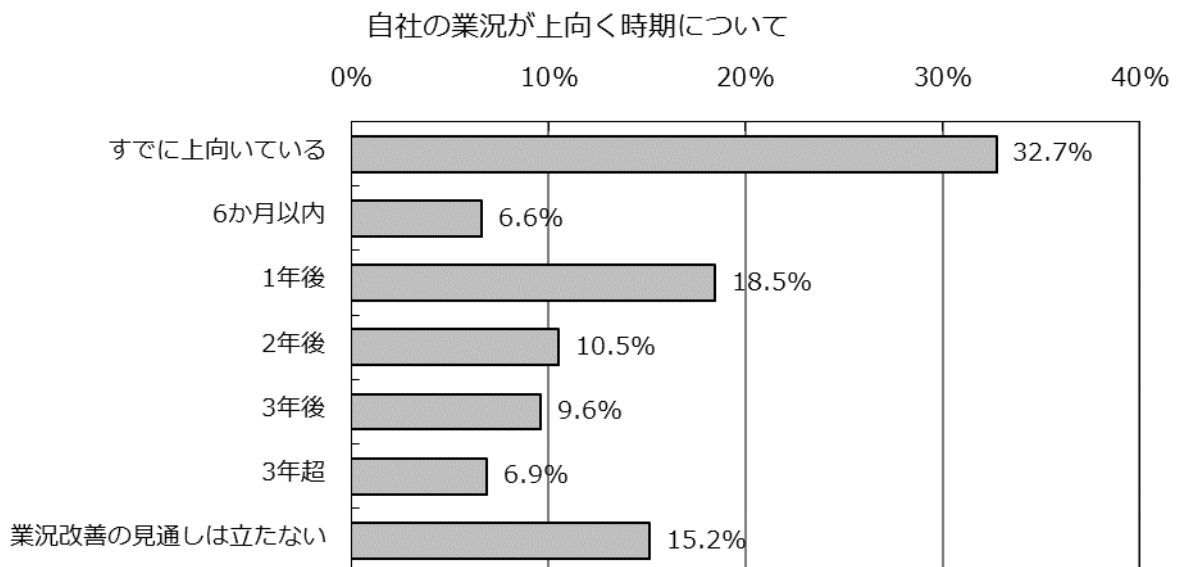
2024年の貴社の売上額の伸び率については、「変わらない」(53.0%)が最多回答となった。次いで、「10%未満の増加」(23.6%)、「10%~19%の増加」(10.7%)が続いた。



### Q4. 自社の業況が上向く時期について

#### 「すでに上向いている」(32.7%)が最多回答

自社の業況が上向く時期については、「すでに上向いている」(32.7%)が最多回答であった。次いで、「1年後」(18.5%)、「業況改善の見通しは立たない」(15.2%)と続いた。

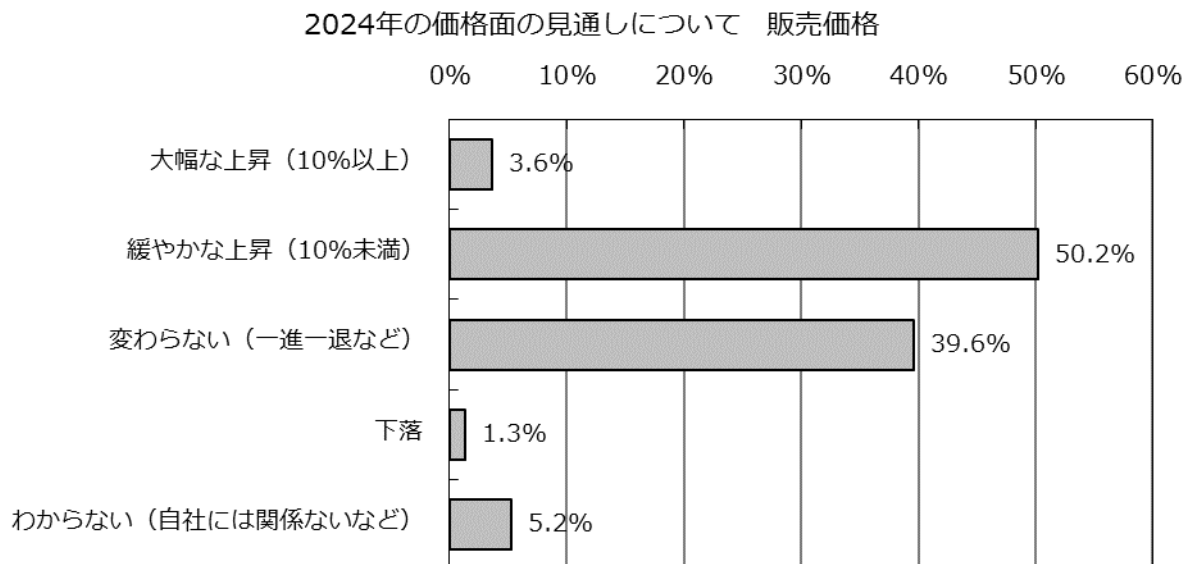


## Q5. 2024年の価格面の見通しについて

### 【販売価格】

#### 「緩やかな上昇(10%未満)」(50.2%)が最多回答

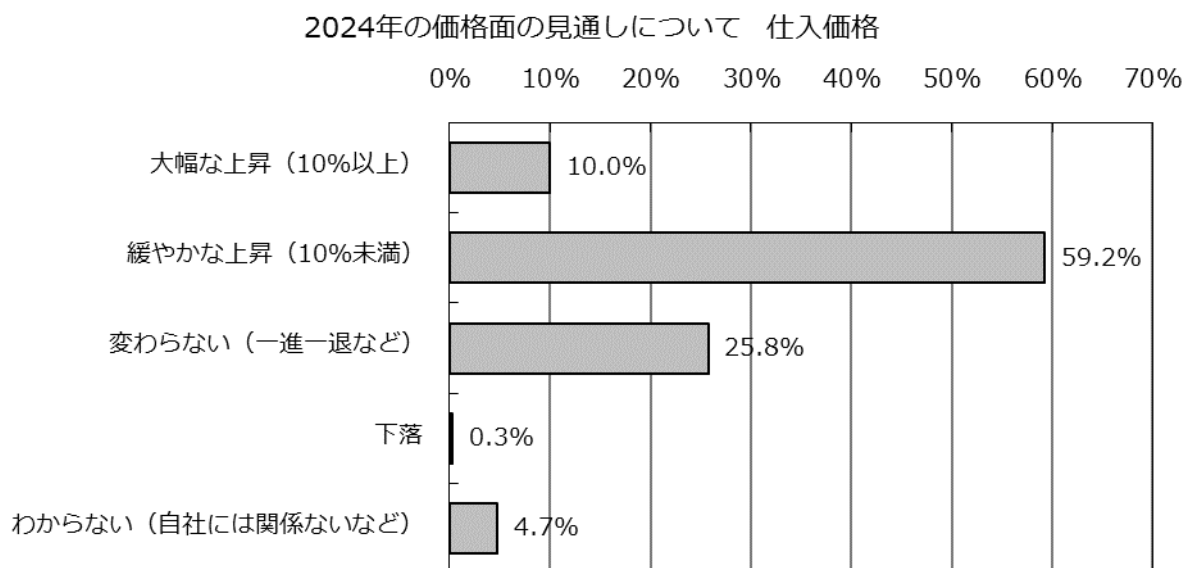
2024年の販売価格面の見通しについては、「緩やかな上昇(10%未満)」(50.2%)が最多回答で、次いで「変わらない(一進一退など)」(39.6%)と続いた。



### 【仕入価格】

#### 「緩やかな上昇(10%未満)」(59.2%)が最多回答

2024年の仕入価格面の見通しについては、「緩やかな上昇(10%未満)」(59.2%)が最多回答で、次いで「変わらない(一進一退など)」(25.8%)、「大幅な上昇(10%以上)」(10.0%)と続いた。



## < 国外居住親族に係る扶養控除の見直し >

### ● 見直しされる事項（改正事項）

扶養控除の適用対象者から、日本国外に居住する親族のうち 30 歳以上 70 歳未満の者が除外。

ただし下記に該当する場合を除く

- 留学により非居住者になった者
- 障害者
- 扶養控除等を申告する納税義務者から、その年における生活費または教育費に充てるための支払（仕送り）を 38 万円以上受けている者



### ● 見直しの理由（改正の理由）

国外居住親族に係る扶養控除の適用について、所得要件の判定につき国内源泉所得が用いられていることから、国外で一定以上の所得を稼得している親族でも控除の対象とされているとの指摘（会計検査院より、平成 25 年度決算検査報告）。

### ● イメージ

| 年齢          | 16歳～29歳 | 30歳～69歳 | 70歳以上 |
|-------------|---------|---------|-------|
| 国内に居住する扶養親族 | 扶養控除    | 扶養控除OK  | 扶養控除  |
| 国外に居住する扶養親族 | OK      | 原則NG    | OK    |



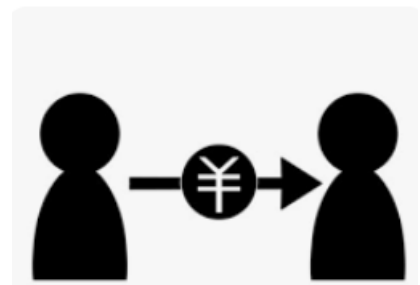
### ● 30 歳～69 歳であっても扶養控除が認められる者（留学・障害者・仕送り）場合の必要書類



- 留学により非居住者になった者  
外国政府又は外国の地方公共団体が発行した留学の在留資格に相当する資格をもって在留者であることを証する書類
- 障害者  
障害者控除を受ける際と同様の書類（障害者手帳など）
- 扶養控除等を申告する納税義務者から、その年にお

ける生活費または教育費に充てるための支払（仕送り）を 38 万円以上受けている者

送金関係書対で、その送金額等が 38 万円以上であることを明らかにする書類（外国送金依頼書の控えや一定の場合におけるクレジットカード利用明細書など）



# ＜上場株式等の配当所得等に係る課税方式の統一＞

## ● 改正前

上場株式等の配当所得や譲渡所得については、「申告不要」「総合課税（配当控除）」「申告分離課税」のいずれかの選択ができる。（譲渡所得は「申告不要」「申告分離課税」が選択できる。）



【上場株式等の配当にかかる申告方法と、それを選んだ場合の影響】

| 選択できる方法 | 申告  | 税率      | 配当控除 | 赤字との通算 | 国保への影響 |
|---------|-----|---------|------|--------|--------|
| 申告不要    | しない | 20.315% | 無し   | 無し     | 無し     |
| 総合課税    | する  | 15%~55% | 有り   | 有り     | 有り     |
| 分離課税    | する  | 20.315% | 無し   | 有り     | 有り     |

更には、所得税と住民税において別々の方法が選択できる。

これにより、例えば所得税においては「総合課税」による配当控除を用いて節税を図る一方、住民税においては、国民健康保険料に影響しないように「申告不要」を用いるなど、別々の方法を用いて「美味しいどこ取り」ができた。



## ● 改正事項

上記のような（所得税と住民税で）別々の方法を認めると国民健康保険等の保険料に影響するなど公平性の観点から課題があった。少子高齢化が進み、社会保障関係経費が増加していくなかで、不公平感の是正、申告手続きの簡素化の観点から、所得税と住民税において異なる課税方式の選択を認めないこととした。



## ● 実務上の注意点

この改正は令和6年度の住民税より適用される。（個人住民税は前年度の所得により賦課決定される）。よって、令和5年度所得税の申告に際しては、所得税と翌年度の住民税の有利不利だけでなく、令和6年度の国民健康保険料等への影響も考慮した上で、（所得税・個人住民税併せて）申告方法を選択する必要あり。



## <令和5年度確定申告書書式の変更>

- 確定申告書 第一表・第二表

- 親族欄の書き方が変わった

(前述記載による「国外居住親族に係る扶養控除の見直し」による変更)

| ○ 配偶者や親族に関する事項 (29~32) |      |     |      |     |      |     |     |   |   |
|------------------------|------|-----|------|-----|------|-----|-----|---|---|
| 氏名                     | 個人番号 | 続柄  | 生年月日 | 障害者 | 国外居住 | 住民税 | その他 |   |   |
| <b>変更前</b>             |      | 配偶者 | 特大地主 |     | ○    | ○   | ○   | ○ | ○ |
|                        |      |     | 特大地主 |     | ○    | ○   | ○   | ○ | ○ |
|                        |      |     | 特大地主 |     | ○    | ○   | ○   | ○ | ○ |
|                        |      |     | 特大地主 |     | ○    | ○   | ○   | ○ | ○ |
|                        |      |     | 特大地主 |     | ○    | ○   | ○   | ○ | ○ |
| <b>変更後</b>             |      | 配偶者 | 特大地主 |     | ○    | ○   | ○   | ○ | ○ |
|                        |      |     | 特大地主 |     | ○    | ○   | ○   | ○ | ○ |
|                        |      |     | 特大地主 |     | ○    | ○   | ○   | ○ | ○ |
|                        |      |     | 特大地主 |     | ○    | ○   | ○   | ○ | ○ |
|                        |      |     | 特大地主 |     | ○    | ○   | ○   | ○ | ○ |

**配偶者や存続に関する事項の「国外居住」の欄の記載方法に変更あり**

- 住民税：特定株式の収入に関する「申告不要制度」の記入欄が無くなった  
「申告不要制度」とは特定の上場株式などによる収入を「申告しなくてもOK」とする制度。前述記載どおり、所得税と住民税において別々の方法が選択できなくなったことから当該記入欄が不要になる。

- 収支内訳書（白色申告の個人事業主・雑所得者）

- 取引先の「登録番号（インボイス番号）」を記入する欄が新設された（記入は任意）

| ○ 売上(収入)金額の明細 |     |            |          |               |  |  |  |  |  |
|---------------|-----|------------|----------|---------------|--|--|--|--|--|
| 売上先名          | 所在地 | 登録番号(法人番号) | 売上(収入)金額 | ○ 本年中における特殊事情 |  |  |  |  |  |
|               |     |            |          |               |  |  |  |  |  |
|               |     |            |          |               |  |  |  |  |  |
|               |     |            |          |               |  |  |  |  |  |
|               |     |            |          |               |  |  |  |  |  |
| 上記以外の売上先の計    |     |            |          |               |  |  |  |  |  |
| 合計            |     |            |          |               |  |  |  |  |  |

**インボイス番号を記載する欄**

| ○ 仕入金額の明細  |     |            |      |               |  |  |  |  |  |
|------------|-----|------------|------|---------------|--|--|--|--|--|
| 仕入先名       | 所在地 | 登録番号(法人番号) | 仕入金額 | ○ 本年中における特殊事情 |  |  |  |  |  |
|            |     |            |      |               |  |  |  |  |  |
|            |     |            |      |               |  |  |  |  |  |
|            |     |            |      |               |  |  |  |  |  |
|            |     |            |      |               |  |  |  |  |  |
| 上記以外の仕入先の計 |     |            |      |               |  |  |  |  |  |
| 合計         |     |            |      |               |  |  |  |  |  |

| ○ 減価償却費の計算  |      |            |            |      |      |     |               |                  |       |                |     |                  |              |    |
|---|------|------------|------------|------|------|-----|---------------|------------------|-------|----------------|-----|------------------|--------------|----|
| 減価償却資産の名称等(資産番号を含む)   | 取得年月 | 取得価額(償却原価) | 償却の基礎となる金額 | 償却方法 | 耐用年数 | 償却率 | 本年の償却額又は定額償却額 | 本年分の普通償却費(⑧×⑦×①) | 特別償却費 | 本年分の償却費合計(⑨+⑩) | 事業年 | 本年分の心算経費算入額(⑪×⑫) | 年末償却残高(期末残高) | 備註 |
|   |      |            |            |      |      |     |               |                  |       |                |     |                  |              |    |
|   |      |            |            |      |      |     |               |                  |       |                |     |                  |              |    |
|   |      |            |            |      |      |     |               |                  |       |                |     |                  |              |    |
|   |      |            |            |      |      |     |               |                  |       |                |     |                  |              |    |
|   |      |            |            |      |      |     |               |                  |       |                |     |                  |              |    |
|   |      |            |            |      |      |     |               |                  |       |                |     |                  |              |    |
| ⑬ 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する報告のみ記載欄のボックス内に償却原価を記入します。 |      |            |            |      |      |     |               |                  |       |                |     |                  |              |    |

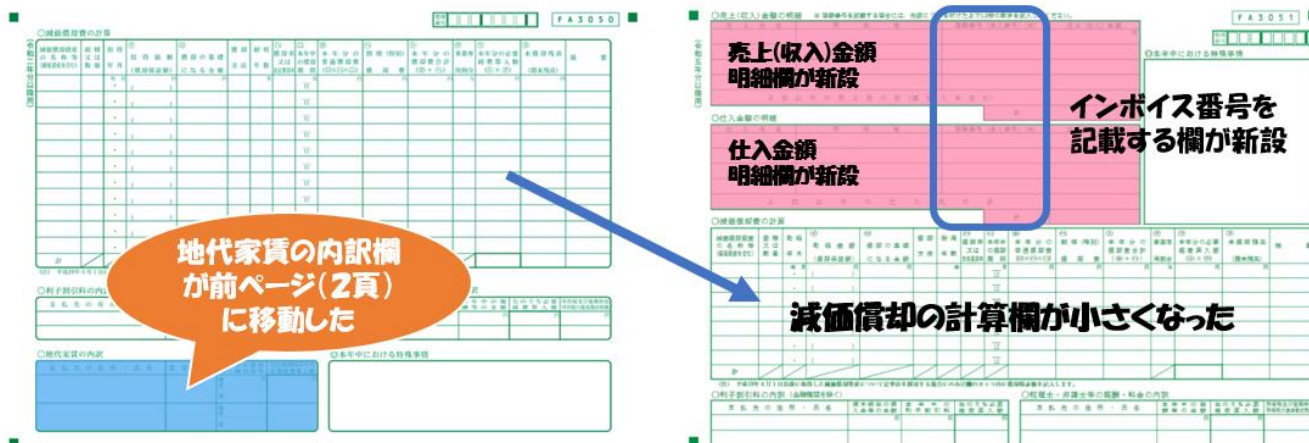
| ○ 利子割引料の内訳 (金融機関を除く) |              |           | ○ 地代家賃の内訳 |     |              |
|----------------------|--------------|-----------|-----------|-----|--------------|
| 支払先の名称・氏名            | 期末現在の借入金等の金額 | 本年中の利子割引料 | 支払先の名称・氏名 | 支払額 | 本年中の借入金・借入金等 |
|                      |              |           |           |     |              |
|                      |              |           |           |     |              |
|                      |              |           |           |     |              |
|                      |              |           |           |     |              |
|                      |              |           |           |     |              |
|                      |              |           |           |     |              |
|                      |              |           |           |     |              |
|                      |              |           |           |     |              |

- 青色申告決算書（青色申告の個人事業主）
  - ・ 売上と仕入の明細欄が新設された
  - ・ 取引先の「登録番号（インボイス番号）」を記入する欄が新設された（記入は任意）

【青色決算書3ページ目の変更】

<変更前>

<変更後>

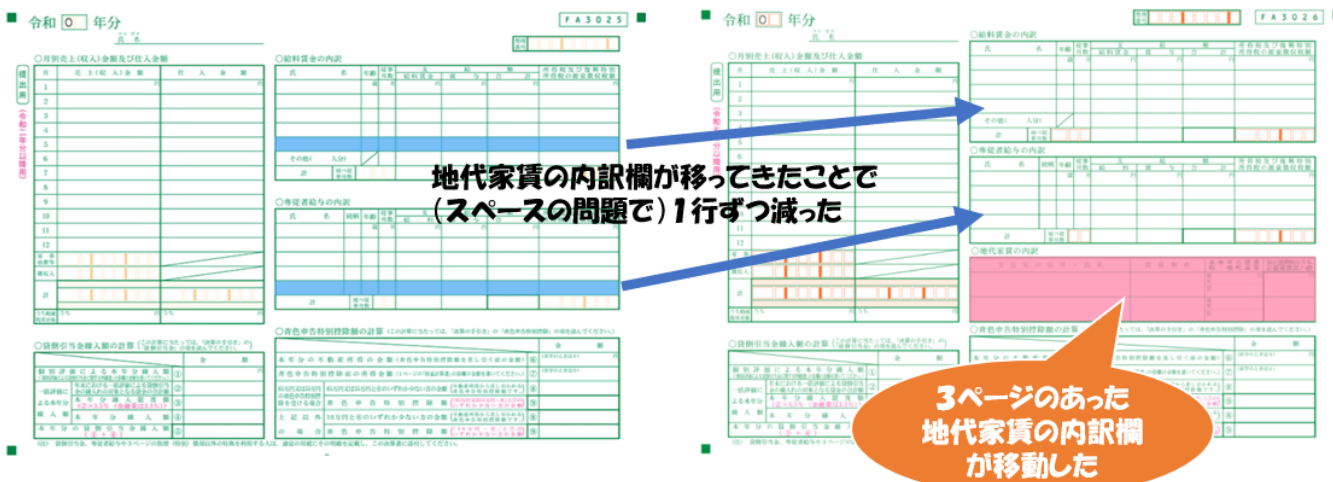


【青色決算書2ページ目の変更】

3ページ目の変更の影響を受け2ページ目に下記の変更がある

<変更前>

<変更後>



● まとめ

申告書書式の変更は

- ・ 今般の改正
    - 「国外居住親族に係る扶養控除の見直し」  
(扶養控除に拘わる記載事項の変更)
    - 「上場株式等の配当所得等に係る課税方式の統一」  
(住民税：特定株式の収入に関する「申告不要制度」選択欄の廃止)
  - ・ インボイス制度導入による「取引先の登録番号記入（記入任意）欄を設ける」
- 以上2点の理由によるもの

以上

《よこしん》景況レポート

2024年1月発行 NO.130

横浜信用金庫 経営企画部

〒231-8466 横浜市中区尾上町2丁目16番地1

TEL. 045-680-6912